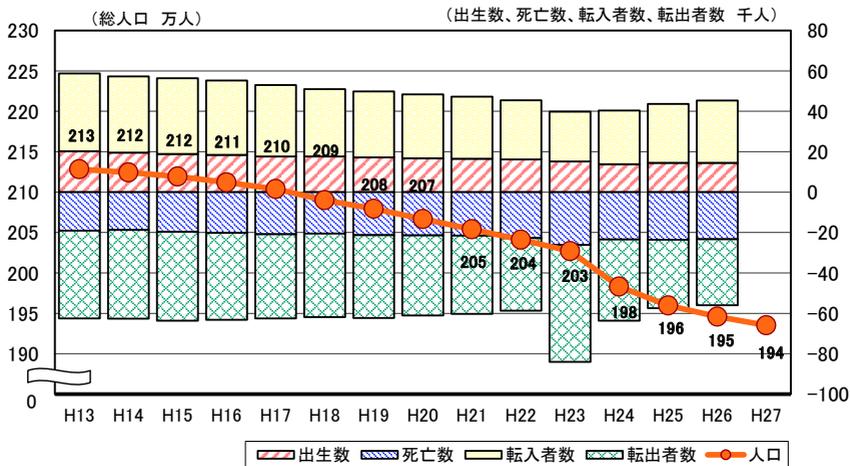


グラフでみる東日本大震災からの歩み ～ 統計データから見る福島県の現状 ～

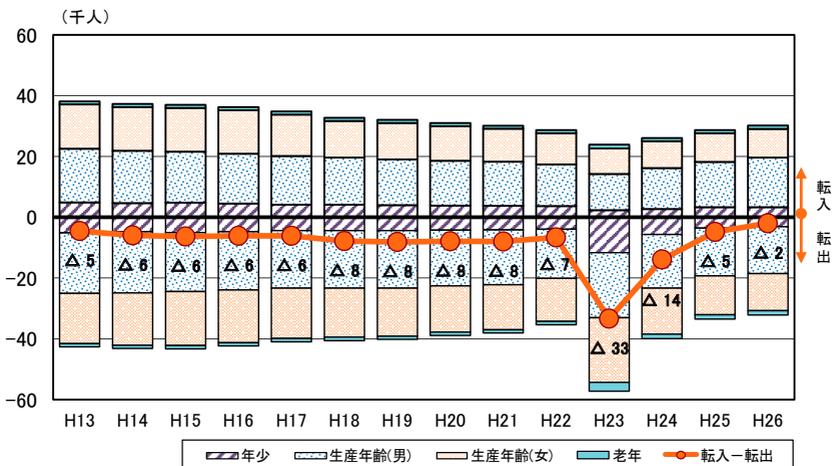
1 県人口の推移

(1) 県の人口(各年1月1日現在の推移)



資料：県統計課「福島県現住人口調査年報」、「福島県の推計人口(福島県現住人口調査結果)」
 ※人口は各年1月1日現在の人数
 ※出生数、死亡数、転入者数、転出者数は「当該年の1月1日から12月31日までの増減数」

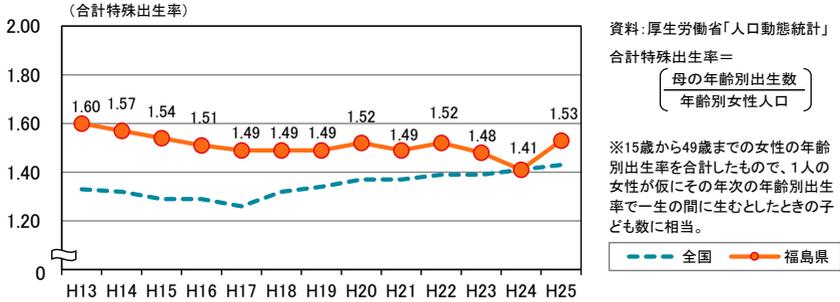
(2) 県人口の社会動態(年少人口、生産年齢及び老年人口の1年の動態)



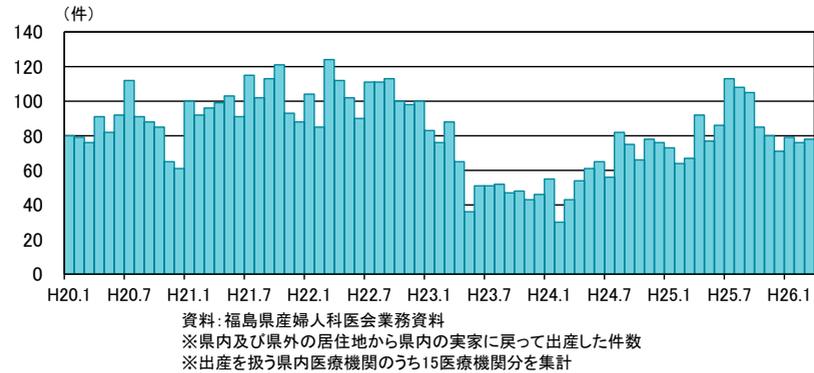
年少:0歳から14歳 生産年齢:15歳から64歳 老年:65歳以上

資料：県統計課「福島県現住人口調査年報」、「福島県の推計人口(福島県現住人口調査結果)」

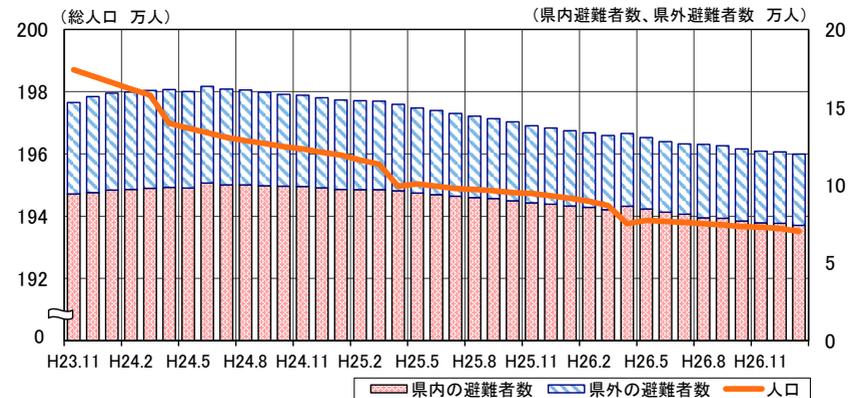
(3) 合計特殊出生率



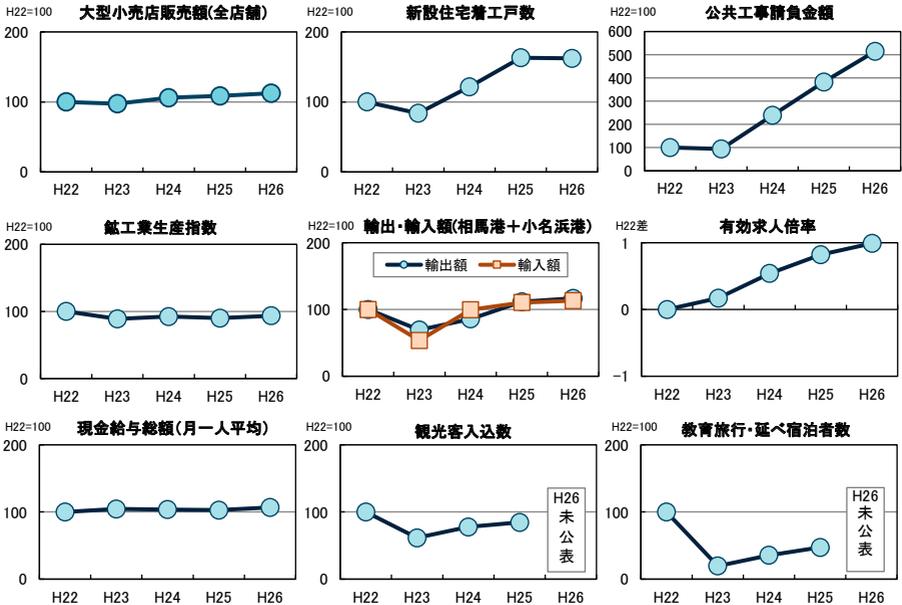
(4) 福島県内の里帰り出産件数



(5) 県の人口と避難者数



2 県内の経済動向(H22暦年=100とした値)



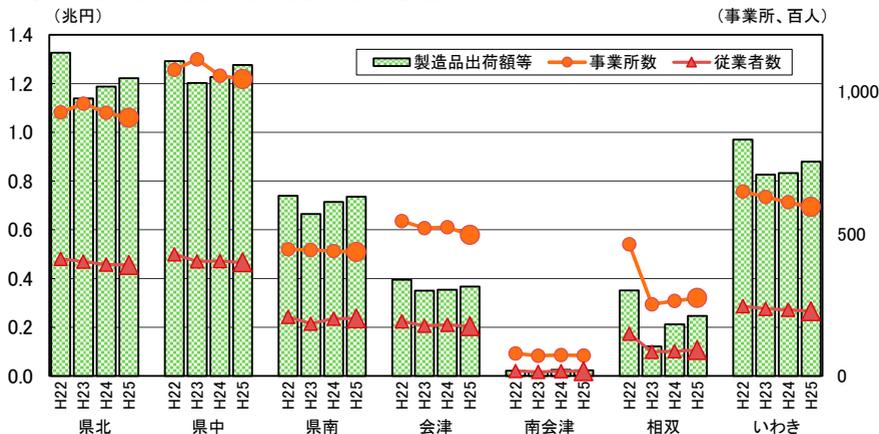
経済情勢に関する指標(暦年値 ※教育旅行のみ年度値)

項目	単位	H22	H23	H24	H25	H26	資料
大型小売店販売額(全店舗)	百万円	223,494	217,826	236,871	242,588	251,115	東北経済産業局「東北地域大型小売店販売額動向」
	H22=100	100.0	97.5	106.0	108.5	112.4	
新設住宅着工戸数	戸	9,342	7,826	11,353	15,233	15,165	国土交通省「住宅着工統計」
	H22=100	100.0	83.8	121.5	163.1	162.3	
公共工事請負金額	百万円	202,335	190,885	484,973	774,804	1,041,421	東日本建設業保証(株)「公共工事前払金保証統計」
	H22=100	100.0	94.3	239.7	382.9	514.7	
鉱工業生産指数	指数	100.0	88.9	92.5	90.0	93.6	県統計課「福島県鉱工業指数年報」※H26は「月報」
	H22=100	100.0	88.9	92.5	90.0	93.6	
輸出額	百万円	52,723	36,576	45,233	58,813	61,539	横浜税関「横浜税関管内貿易概況」※H26は「貿易速報」
	H22=100	100.0	69.4	85.8	111.6	116.7	
輸入額	百万円	412,051	220,964	410,672	454,713	466,025	※H26は「貿易速報」
	H22=100	100.0	53.6	99.7	110.4	113.1	
有効求人倍率	倍	0.42	0.59	0.96	1.24	1.41	福島労働局「最近の雇用失業情勢について」
	H22年差	0.00	0.17	0.54	0.82	0.99	
現金給与総額	円	284,827	285,556	295,212	292,629	304,017	県統計課「毎月勤労統計調査地方調査結果年報」※H26は「月報」
	H22=100	100.0	(注1) 104.5	103.6	102.7	106.7	
観光客入込数	千人	57,179	35,211	44,459	48,315	未公表	県観光交流課「福島県観光客入込状況」
	H22=100	100.0	61.6	77.8	84.5	-	
教育旅行・延べ宿泊者数	人	673,912	132,445	240,148	318,618	未公表	県観光交流課「福島県教育旅行入込調査報告書」
	H22=100	(注2) 100.0	19.7	35.6	47.3	-	

(注1): 東日本大震災により平成23年3月及び4月の調査を中止したため、調査を実施した10か月分を用いている。

(注2): 東日本大震災により、調査結果回収不能となった一部の施設分は推計値を用いており、他年度とは集計方法が異なる。

3 県内製造業の製造品出荷額等の推移



	事業所数				従業者数(人)				製造品出荷額等(億円)			
	H22	H23	H24	H25	H22	H23	H24	H25	H22	H23	H24	H25
県計	4,186	3,988	3,893	3,824	165,236	150,168	151,481	150,152	50,957	43,209	45,526	47,504
県北	927	958	926	908	41,188	40,248	39,170	39,018	13,266	11,385	11,870	12,223
県中	1,077	1,114	1,056	1,044	42,807	40,321	40,376	39,949	12,924	12,026	12,270	12,764
県南	446	443	439	436	20,822	18,444	20,178	20,218	7,398	6,647	7,139	7,356
会津	545	520	523	496	19,199	17,655	18,023	17,450	3,946	3,503	3,543	3,669
南会津	79	71	74	72	1,776	1,457	1,685	1,676	211	172	252	231
相双	463	252	264	274	14,883	8,459	8,737	9,101	3,509	1,217	2,124	2,469
いわき	649	630	611	594	24,561	23,584	23,312	22,740	9,703	8,258	8,329	8,793

資料:県統計課編「工業統計調査結果速報」『福島県の工業』

※従業者数4人以上の事業所を対象

※H23、H24年調査における調査対象外の地域

・全域が対象外「楢葉町、富岡町、大熊町、双葉町、浪江町、葛尾村、飯館村」

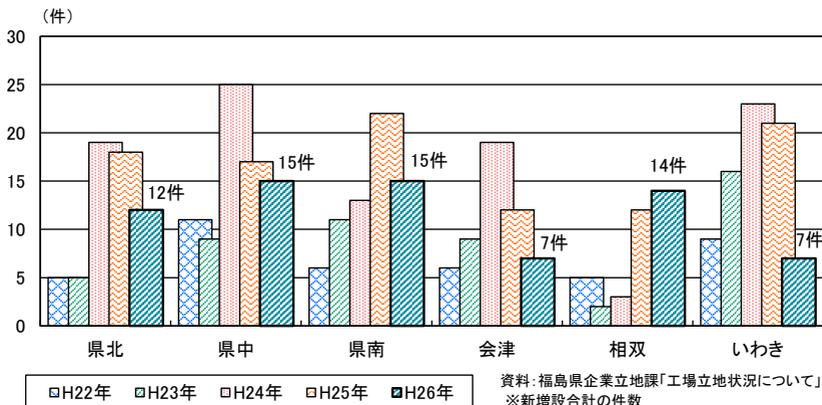
・一部の地域が対象外「田村市(H23年調査のみ)、南相馬市、川俣町、川内村(H23年調査のみ)」

※H25年調査における調査対象外の地域

・全域が対象外「大熊町」

・一部の地域が対象外「南相馬市、川俣町、楢葉町、富岡町、双葉町、浪江町、葛尾村、飯館村」

4 工場立地件数(地域別)の推移



資料:福島県企業立地課「工場立地状況について」

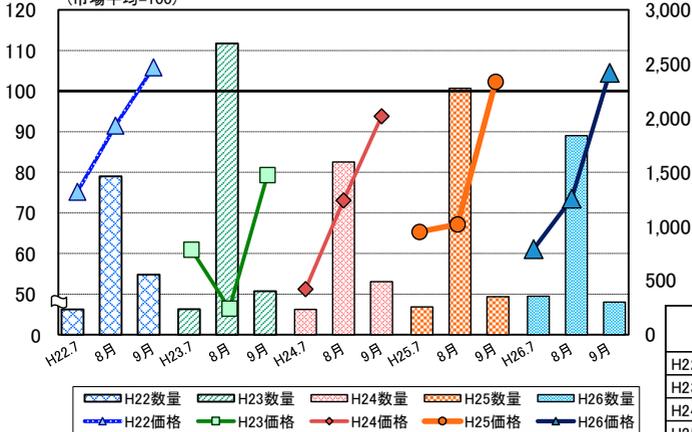
※新增設計の件数

5 県内産の農産物の現状(卸売市場の価格、数量)

(1) もも

福島県産 卸売価格の
市場平均比(福島県産以外)
(市場平均=100)

福島県産 卸売数量(トン)

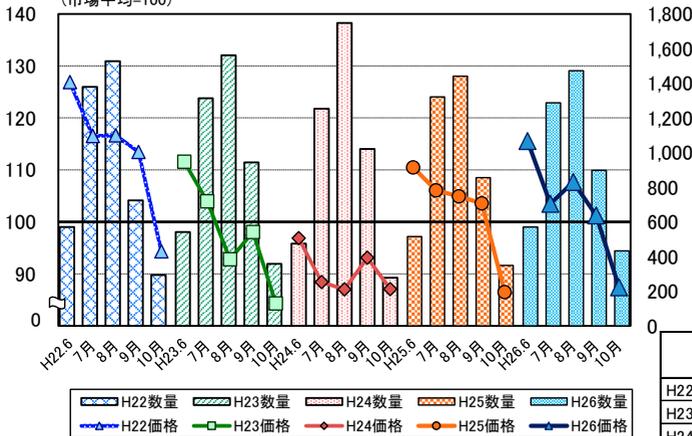


	収穫量 (トン)	全国 シェア(%)	全国 順位
H22	28,200	20.6	2
H23	29,000	20.7	2
H24	27,500	20.3	2
H25	29,300	23.5	2
H26	29,300	21.4	2

(2) きゅうり

福島県産 卸売価格の
市場平均比(福島県産以外)
(市場平均=100)

福島県産 卸売数量(トン)



	収穫量 (トン)	全国 シェア(%)	全国 順位
H22	49,400	8.4	3
H23	44,400	7.6	4
H24	46,200	7.9	4
H25	41,700	7.3	4

(資料)

グラフ(卸売価格、卸売数量)・・・農林水産省「青果物卸売市場調査(旬別結果、東京大田市場)」より作成

※卸売価格の市場平均比(福島県産以外の平均価格)

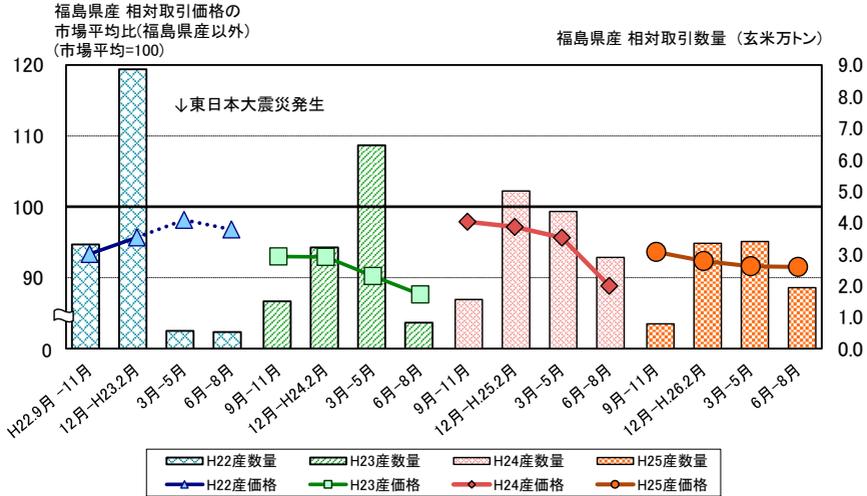
= 福島県産の価格 ÷ [(全産地の価格 × 全産地の数量 - 福島県産の価格 × 福島県産の数量)

÷ (全産地の数量 - 福島県産の数量)] × 100

※卸売数量 = 福島県産の数量

表(収穫量)・・・農林水産省「作物統計」

6 県内産の農産物の現状(米の相対価格、相対数量)



資料:農林水産省「米に関するマンスリーレポート」より作成

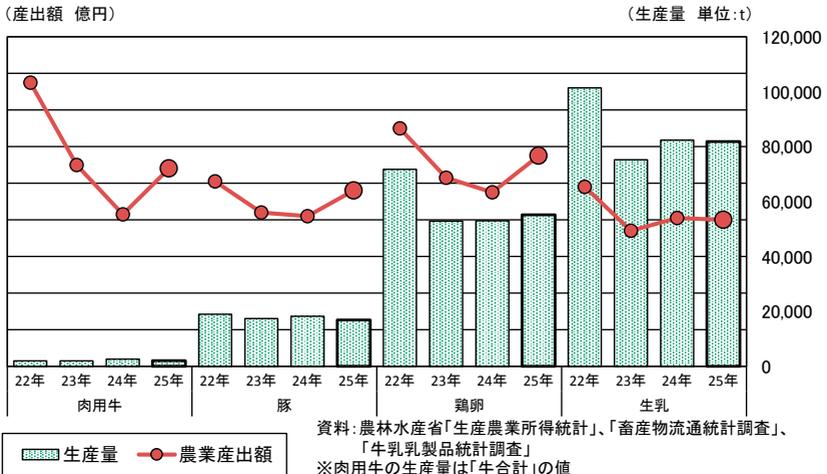
※ 相対取引価格の市場平均比(福島県産以外の平均価格)

= 福島県産の価格 ÷ [(全産地の価格 × 全産地の数量 - 福島県産の価格 × 福島県産の数量) ÷ (全産地の数量 - 福島県産の数量)] × 100

※平成23年5月~7月の相対取引価格は含まれない。

※相対価格は、全農、道県経済連、県単一農協、道県出荷団体(年間の玄米仕入数量が5,000トン以上)、出荷業者(年間の直接販売数量が5,000トン以上)の、出荷業者と卸売業者等との間で数量と価格が決定された主食用の相対取引契約の価格(運賃、包装代、消費税を含む1等米の価格)を加重平均したものである。

7 県内産の畜産物の現状(農業産出額、生産量)



資料:農林水産省「生産農業所得統計」、「畜産物流通統計調査」、「牛乳製品統計調査」

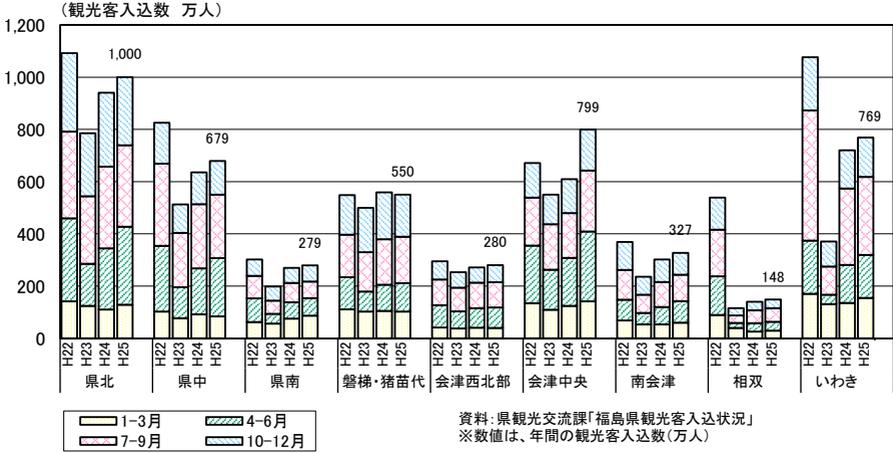
※肉用牛の生産量は「牛合計」の値

※農業産出額=生産数量×農家庭先販売価格

8 県内の観光客入込状況

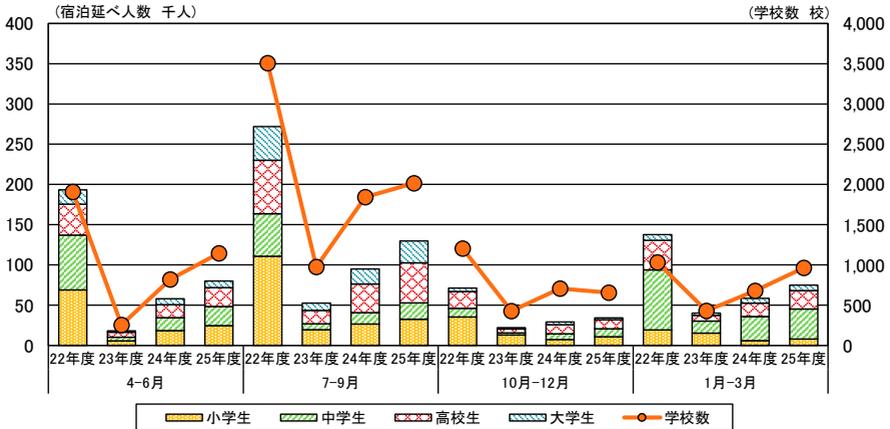
(1) 県内の観光客入込状況

- ・平成25年度の観光客入込数は、48,315千人、平成24年比8.7%増となり、2年連続で前年を上回った。
- ・会津中央は、大河ドラマなどの影響から会津若松市内への観光客が増加し、平成24年比31.2%増、観光圏域別で最も高い伸び率となった。
- ・避難指示区域の設定が続く相双は、震災前の平成22年比72.5%減と大幅に減少しているが、平成24年比では6.3%増となり、少しずつ回復傾向を示している。
- ・その他の地域については、磐梯・猪苗代を除いて、平成24年比はプラスとなり、回復傾向を示している。



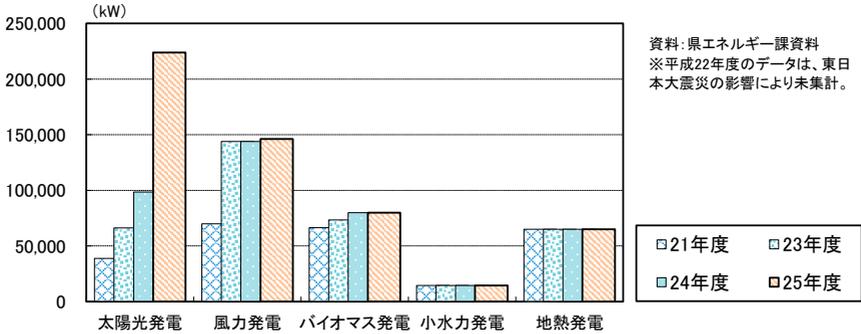
(2) 県内の教育旅行の現状

- ・H25年度の教育旅行宿泊者延べ数は318,618人、前年度比32.7%増、学校数は4,776校、前年度比18.2%増となり、2年連続で前年度を上回った。福島県内で教育旅行を実施した学校の中には、自然や歴史学習に加え、被災地視察などの震災・防災学習を取り入れている事例もあり、「福島は今」を知るきっかけとなっている。
- ・平成22年度比では47.3%となり、依然として厳しい状況ではあるが、少しずつ回復傾向を示している。

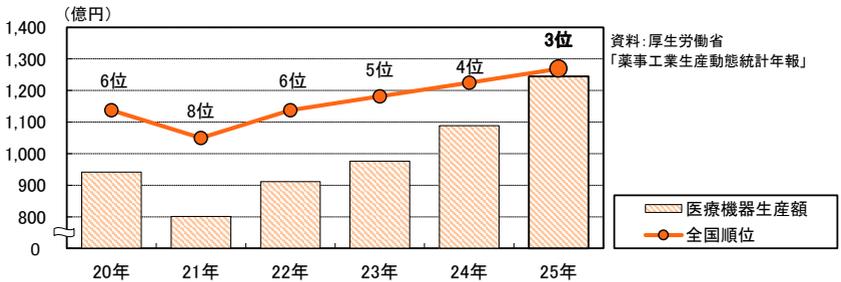


9 県内の成長産業と復興需要の推移

(1) 福島県における再生可能エネルギー設備導入状況



(2) 医療機器生産額と全国順位



県は「福島県復興計画」において、「再生可能エネルギーの推進」や「医療関連産業の集積」などを12の重点プロジェクトに位置付け、太陽光など再生可能エネルギーの導入拡大や医療機器開発・安全評価拠点の整備などに取り組んでいる。

(3) 建築・土木工事 出来高

